

特集

運行から1年 利用者、順調な伸び！ デマンドバス「おでかけ号」

市は昨年11月、市民の皆様の足として「おでかけ号」の運行を開始しました。利用者数は、平成24年9月の1か月で1,922人となり、運行当初の1か月利用者数188人に比べ1,734人増と、順調に伸びています。

皆様が、「いくつになっても、元氣にお出かけできるように」とドアトゥドア型の方式で、身近な交通手段として地域に根差したバスとして活躍しています。

自宅が停留所

デマンドバスとは、一般の路線バスのようにバス停に行くこともなく、タクシーのように高額な料金を支払う事もない、バスとタクシーの良いところを取り入れた公共交通です。

お客様の電話予約に応じて、10人乗りワゴン車で自宅までお迎えにあがり、病院・買い物・温泉施設などへお送りします。ただし、複数のお客様が同時に利用しますので、時間指定はできませんが、皆様に不便を掛けることのないように経路を選定して運行しています。

自宅にお迎え



こんにちは。お願いします

それでは10時30分ごろお迎えに行きます



予約センター

予約は、利用1時間前まで可能です。

車内



乗り合いなので、同乗のお客さんとお話ししながら乗車です！

インタビュー

毎日、利用しています

鈴木さん（下野市町田在住）

昨年11月の運行開始前は、買い物や病院は、自転車やタクシーを利用していました。しかし年齢的、経済的なことを考

乗継共通施設は市内3カ所

石橋エリアから南河内エリアへ利用する場合など、他のエリアへ行く時は、乗換共通施設で乗り継ぎします。乗り継ぎ料金200円が加算されます。



市役所国分寺庁舎

「おでかけ号」登録状況実績



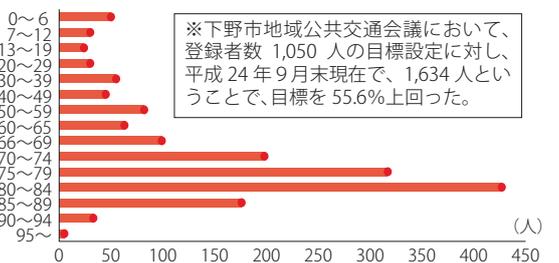
男女別内訳

男	510人
女	1,124人
計	1,634人

エリア別登録者数

石橋エリア	583人
国分寺エリア	407人
南河内エリア	644人
合計	1,634人

年代別内訳



※下野市地域公共交通会議において、登録者数1,050人の目標設定に対し、平成24年9月末現在で、1,634人ということで、目標を55.6%上回った。

9月現在、登録者数は1,634人で順調な伸びを示しています。また、利用者も約2,000人/月となり、市内循環バス（きらら号・ふれあい号）の運行終了以降の4月から大きな伸びを示しています。

年代別の登録者数は、70歳以上の登録者数が全体の約70%で、買い物や通院などで利用している高齢者に親しまれています。今後は、若い世代にも公共交通の重要性や有用性を再認識してもらい、身近な交通手段として利用してもらえよう、PRに努めます。

「残す」

- ◆ 停留所まで歩く必要がなく、自宅や病院、スーパーなど希望する場所で乗り降りできます。
- ◆ 予約制なので、希望の時間帯に自宅などへ来てもらえます。
- ◆ 予約に応じて運行するため、利用者がいない場合は運行せず、環境にやさしいです。